



06 ■ <貴族>ルクレツィアへの協力者のふりをする貴族長 / 応募推奨性別：不問（子供声）
ウォルター・ブランシュシルト 【Walter・Blancheschild】（♂/12歳）

■ 選考台詞 ■ 応募ファイル名：06ウォルター_応募者名.wav

0601 「はあ〜い♪ ボクはウォルター・ブラ…っと。ウォルター・シュワルツだよっ！」
0602 「た、大変……！！ ルクレツィアさま大丈夫！？ ねえ大丈夫！？」
0603 「どうということ？ 楽しいでしょ？ 楽しいんだよね！？ ボクは認めない……！」

■ 人物説明 ■

ティエールに保護されシュワルツ家に入る。
保護される以前のことを語ろうとしない。
純粋に自分が楽しいことを求めるワガママ少年。

■ 役割説明 ■

代々街を守護する貴族の末子。最年少で資格審査に挑み、貴族長の証を手にした。
基礎能力の高さを期待され、遊びたい盛りに抑圧されて育ったため他人を信用できない。
抑圧の反動で自分が楽しくなることを追求するように貴族ルールを上書きした。
ティエールの正体はなんとなくわかっていて親近感がある。

■ 台詞傾向 ■

言い回し 元気、わがまま

外面 無邪気、純粋

内面 腹黒、傲慢

喜怒哀楽 強め、変化多め

その他

物語黒幕としての声圧切り替え要

駄々っ子、発狂的台詞あり

■ 呼称 ■

1 ヴィルロアおねーちゃん

2 フルクロア

3 ヘルガ

4 ルクレツィアさま

5 ティエール

6 ボク

7 ファンダリアおねーちゃん

8 レオ

11 クロエ

12 フィンレー

13 ジュード

14 ゼノ

■ 台詞数（21/10/01時点参考） ■

120